

現計画		事業実施からみられる課題	H29 アンケート調査結果	H29 ヒアリング調査結果	新しい国の方向性	懇談会からの次期計画に向けたキーワード	次期教育計画の方向
基本方針	方向						
1 「生きる力」の育成に向けて	(1)確かな学力の育成 (2)豊かな心の育成 (3)健康と体力の育成	○教育の情報化による学習指導の質の向上 ○人権教育の推進 ○いじめや暴力行為の防止に向けた教育の推進 ○読書活動の推進 ○たくましく生きるための健康と体力づくりの推進 ○環境教育の推進	・学校を楽しいと思う児童の割合が前回調査よりも増加（約9割） ・自分に自信もてるところが「ある」と思う児童・生徒の割合は、学年が上がるにつれて低下 ・「公立学校教育で取り組んでほしいこと」の中で、「教職員の能力の向上」が最も高い ・望ましい教師像は、「授業をしっかりとわかりやすく教える先生」、「児童・生徒の状況をしっかりと把握する先生」、「児童・生徒の話をきちんと聞く先生」など ・参加・協力してもよい身近な小学校・中学校の取組は、「学校の行事やイベント」、「学校で行われる地域のスポーツ・文化活動」など ・学校・家庭・地域が相互の連携・協力を深めていく上で大切なことは、「学校・家庭・地域の間の情報交換をスムーズに行うこと」をあげる市民が多い ・公民館を利用しない理由としては、「利用の仕方がわからないから」、「公民館で行っている事業などに興味がないから」、「公民館の場所がわからないから」という理由もあげられている ・西東京市の学習環境は、図書館やスポーツ施設の利用のしやすさが評価されている	・忙しい子どもが多く、遊ぶ時間が少なくなっている ・人と関わる時間が少なくなっている ・弱みを見せない子どもが多い ・公立・私立を含めた保育園同士、また幼稚園との連携 ・就学前教育プログラムの作成 ・教員アンケートでは、今後、西東京市の公立学校教育で特に重点をおいて取り組む必要があるものとして、「少人数学級」の割合が最も高く、次いで「老朽校舎の建替えや改修」、「一人ひとりに応じた特別支援教育の充実」の割合となっている ・「合理的配慮」への対応 ・通常学級の子どもやその保護者に対する障害者理解の促進 ・保護者の不安は情報不足によることが多い ・医療的ケアの子どもへの対応 ・中学生が地域の中でボランティア活動をする場づくりにもなっている。 ・市民の活動もキャッチして集約し、総合的に子どもたちの育ちを応援できるシステムを構築していただきたい。 ・公民館活動をしていることを他の市民にもっと知ってもらいたい	・問題発見・解決能力の修得 ・社会的・職業的自立に向けた能力・態度の育成 ・家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進 ・グローバルに活躍する人材の育成 ・新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導体制の整備等 ・ICT利活用のための基盤の整備 ・安全・安心で質の高い教育研究環境の整備 ・児童生徒等の安全の確保 ・関係機関・団体の連携 ・家庭の経済状況や地理的条件への対応 ・多様なニーズに対応した教育機会の提供 ・家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進 ・人生100年時代を見据えた生涯学習の推進 ・人々の暮らしの向上と社会の持続的発展のための学びの推進 ・職業に必要な知識やスキルを生涯を通じて身に付けるための社会人の学び直しの推進	・小学校低学年の正副担任制 ・小学校の少人数化 ・キャリア教育の拡充 ・自己理解向上、意欲づくり⇒自尊感情や自己肯定感の向上 ・生き方教育 ・携帯電話の使い方 ・IT教育の基盤整備（2023年レベル） ・先生の環境（疲れすぎないでいられる余裕を） ・課題のある家庭の保護者に伴走型の支援 ・ケアマネ的な相談体制 ・幼保小の連携 ・子育てを孤独にしない仕組み ・“乳幼児の教育”という視点 ・不登校の子の居場所 ・小・中・高生が参加しやすい講座 ・活動の場を増やす（空き家等活用） ・公民館機能の充実 ・誰もが学べる（障害のある人、多様な年代）講座の充実 ・生涯学習におけるIT活用 ・家庭教育向上の具体的施策 ・家庭からはじまる教育	1 <u>新学習指導要領の実現</u> 2 <u>キャリア生き方教育の推進</u> 3 確かな学力の育成 4 豊かな心の育成 5 健康と体力の育成 6 <u>就学前教育の推進</u> 7 <u>主体的、対話的で深い学びの実現</u> 8 <u>英語教育の推進</u> 9 <u>オリンピック・パラリンピック教育の推進</u> 10 <u>プログラミング教育の推進</u> 11 <u>小中一貫教育の推進</u> 12 特色ある学校づくりの推進 13 学習環境等の整備 14 学校経営改革の推進 15 <u>学校の働き方改革の推進</u> 16 <u>社会に開かれた教育課程の推進</u> 17 <u>コミュニティスクールの研究</u> 18 通常の学級での個に応じた支援の充実 19 特別支援学級の発展と充実 20 教育相談の発展的展開 21 教育実践を支える情報活用と研修等の充実 22 <u>共生社会の形成に向けた支援教育の充実</u> 23 <u>切れ目のない支援</u> 24 家庭の教育力向上の支援 25 <u>地域における教育活動の推進</u> 26 学校・家庭・地域・行政の連携強化 27 <u>子どもの居場所作りの推進</u> 28 多様な学びを支える生涯学習の振興 29 いつでも・どこでも・だれでも学べる環境の整備
2 「生きる力」を育むための学校教育環境の充実に向けて	(1)特色ある学校づくりの推進 (2)学習環境等の整備 (3)学校経営改革の推進	○特色ある教育課程の編成と実施 ○学校給食環境の整備 ○学校施設の適正規模・適正配置と維持管理 ○学校組織の活性化					
3 一人ひとりを大切に教育の推進に向けて	(1)通常の学級での個に応じた支援の充実 (2)特別支援学級の発展と充実 (3)教育相談の発展的展開 (4)教育実践を支える情報活用と研修等の充実	○各学校の校内体制を充実させる市全体のシステムの適切な運用 ○多様な教育資源の拡充 ○相談機能の充実 ○学校における合意的配慮の実施					
4 社会全体での教育力の向上に向けて	(1)家庭の教育力向上の支援 (2)社会教育の特色を活かした青少年教育の支援 (3)活力のあるコミュニティづくり (4)学校・家庭・地域・行政の連携強化	○地域ぐるみによる家庭教育支援の関係づくり ○放課後支援や週末の体験・交流活動等の場づくり ○学校を拠点とした地域全体における教育力の向上 ○地域との連携による安心・安全の確保 ○教育関係部署・関係機関との連携強化 ○放課後子供教室の充実					
5 いつでも・どこでも・だれでも学べる社会の実現に向けて	(1)多様な学びを支える生涯学習の振興 (2)いつでも・どこでも・だれでも学べる環境の整備	○公民館事業の推進 ○図書館事業の充実 ○文化財の保存と活用の充実					